

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(夜間部)	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	病理学概論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年	学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	皆巳 和賢	実務経験と その関連資格			
《授業科目における学習内容》					
病気のとはどのような状態であるか、その状態やそれに至る原因を考え理解する					
《成績評価の方法と基準》					
終講試験(70%)、出席(20%)、授業態度(10%)により成績判定を行う。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
カラーで学べる病理学(渡辺照男 編集、ヌーヴェルヒロカワ)・配布プリント					
《授業外における学習方法》					
配布されたプリントを使用し、学習する					
《履修に当たっての留意点》					
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 1 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	細胞・組織の障害発生機序について理解する	カラーで学べる 病理学 配布プリント	配布されたプリントをこ なす
		各コマに おける 授業予定	細胞・組織の障害		
第 2 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	修復と再生機構について理解する	カラーで学べる 病理学 配布プリント	配布されたプリントをこ なす
		各コマに おける 授業予定	修復と再生		
第 3 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	炎症のメカニズムについて理解する	カラーで学べる 病理学 配布プリント	配布されたプリントをこ なす
		各コマに おける 授業予定	炎症のメカニズム		
第 4 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	抗体とその働きを理解する	カラーで学べる 病理学 配布プリント	配布されたプリントをこ なす
		各コマに おける 授業予定	抗体とその働き		
第 5 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	感染症の種類を理解する	カラーで学べる 病理学 配布プリント	配布されたプリントをこ なす
		各コマに おける 授業予定	感染症		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	腫瘍の発生機序について理解する	カラーで学べる病理学 配布プリント	配布されたプリントをこなす
		各コマにおける授業予定	腫瘍		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	先天異常の発生機序について理解する	カラーで学べる病理学 配布プリント	配布されたプリントをこなす
		各コマにおける授業予定	先天異常		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌系疾患の発生機序について理解する	カラーで学べる病理学 配布プリント	配布されたプリントをこなす
		各コマにおける授業予定	内分泌系疾患		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器系疾患の発生機序について理解する	カラーで学べる病理学 配布プリント	配布されたプリントをこなす
		各コマにおける授業予定	循環器系疾患		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	糖質代謝異常の発生機序について理解する	カラーで学べる病理学 配布プリント	配布されたプリントをこなす
		各コマにおける授業予定	糖質代謝異常		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	脂質代謝異常の発生機序について理解する	カラーで学べる病理学 配布プリント	配布されたプリントをこなす
		各コマにおける授業予定	脂質代謝異常		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎疾患の発生機序について理解する	カラーで学べる病理学 配布プリント	配布されたプリントをこなす
		各コマにおける授業予定	腎疾患		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器系疾患の発生機序について理解する	カラーで学べる病理学 配布プリント	配布されたプリントをこなす
		各コマにおける授業予定	消化器系疾患		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	各病態の症状について理解する	カラーで学べる病理学 配布プリント	配布されたプリントをこなす
		各コマにおける授業予定	病態		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	本講義内容について、要点を理解した上で説明ができるようになる。	特になし	配布されたプリントをこなす
		各コマにおける授業予定	総合演習を行ない、講義内容の理解度を測る。		